

第40回記念に向けて、新たな展開を迎える
「京都の冬」恒例の演劇祭！

第39回 2018年2月10日(土)→18日(日)
京都府立文化芸術会館

Kyoto演劇 フェスティバル

今回の上演で
選ばれた団体には
【2018年度】
府内各地域の演劇祭に
上演ご招待！

出演料以外の基本的な経費は
演フェスが負担します。

参加団体 募集要項

申込締切 9月22日(金)

※消印有効

概要 紹介

39年の歴史を誇る全国有数の演劇祭！

Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団を対象に、日頃の活動成果を競い合う研さん・技術向上の場として、また、府民に対して質の高い文化活動を奨励、振興する地域密着型の演劇祭として昭和54年より休むことなく開催し続けてまいりました。

また、全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として地域に定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。

公募公演の参加資格を拡大(京都府内から関西全域)するほか、今回より上演を経て選出された劇団に対し、府内各地域で行われている演劇祭などで上演招待の機会を設けるなど、未来の関西演劇界のより一層の活性化を目指し開催いたしております。

参加団体 募集説明会

① 8月 8日(火) 19時～

② 8月24日(木) 19時～

会場：京都府立文化芸術会館ホール

募集内容が大幅に変更となっておりますので、

今回は説明会を2回行います。

参加をご検討の方は是非ご参加ください。

【要：事前申し込み】

大人から子どもまで 毎日楽しめる フェスを目指します！

第40回記念フェスに向けて、今回より様々な取り組みを考えております。

従来は、「児童青少年部門」「一般部門」の2部門で日程を区切って開催していましたが、今回より部門ごとの<日程の壁>を取り払います！

参加される「部門」だけでなく、上演内容や鑑賞対象をもとに、子どもから大人までが楽しめる充実のラインアップとさせていただく事により、毎日が幅広い世代の観客の皆さまに楽しんでいただけるフェスティバルとなる事を目指します！

演フェスへの参加が
活動の場を広げる機会に！

お問合せ・お申込み

「Kyoto演劇フェスティバル」事務局

〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル 京都府立文化芸術会館内
TEL 075-222-1046 FAX 075-211-2013 E-MAIL kaikan@bungei.jp

主催 京都府・指定管理者 創【(公財)京都文化財団・(株)コングレ共同事業体】・Kyoto演劇フェスティバル実行委員会

第39回 Kyoto演劇フェスティバル プログラム紹介

公募公演プログラム

2018年2月10日[土]・11日[日]・12日[祝]・17日[土]・18日[日]

児童青少年部門

関西全域から集った団体が、子どもたちへ演劇・人形劇を届けます。会館全体が子どもたちの活気で賑わう、演フェスの屋台骨を支える伝統のプログラムです。(主な鑑賞対象 小学生～高校生)



子どもから大人まで、幅広い世代で楽しめる人形劇から、涙なしでは観られない感動巨編まで、オリジナルティ豊かな作品をバラエティ豊かに広く募ります！

一般部門

選ばれた団体が日頃の努力の成果を披露する、一般成人の鑑賞を対象とした常に進化を続けている、演フェスを代表するプログラムです。(主な鑑賞対象 高校生～一般成人)



主な公募公演 関連プログラム (詳細は中面をご覧ください。)

合同ワークショップ

世代やジャンル、地域や団体の垣根を越えて舞台の上に大集合！参加者の皆さんが「創造」を実感できるワークショップです。

舞台創造アシスト事業

芝居づくりでお悩みの演フェス申込団体に、演劇有識者・経験者が稽古場まで出向き、ご相談を承る指導者派遣事業です。

相互鑑賞プログラム

各団体の演出家や代表者が他の団体の公演を鑑賞し、感想や講評を行っていただきます。

※専門家・有識者による劇講評も従来どおり予定しております(希望制)。

幕間トーク

各公演の終演後に演出家や代表者が舞台前で観客との感動や感想を分かち合います。(和室ではアフタートークという名称で実施)

合評&交流会

今後のより良い活動と創造のため参加団体の皆さんで演フェスを振り返りましょう。

ロビー企画

演フェスは休憩中でも楽しむことができます！

ホール公演休憩中もお楽しみいただけるよう、下記のような企画を予定しております。

- 人形劇などの様々なパフォーマンスを開催します。
- 参加団体からご来場のお客様へのメッセージを掲示します。
- 各参加団体の日頃の活動内容や公演予告などを展示します。
- 府内各地域で行われている演劇祭の情報などの展示。／ほか

その他企画

第40回記念フェスに向けた様々な取り組み。

演フェスをより盛り上げていくため、下記のような企画を予定しております。

- 実行委員会によるプロデュース公演。
- 中学・高校や大学の優秀校による招待公演。
- 翌年度に京都府内で開催される演劇イベントへの招待ノミネート。
- 最終日に参加全団体が舞台上に再び集うグランドフィナーレ。／ほか

上演スケジュール・上演会場について

[開催日] 2018年2月10日[土]・11日[日]・12日[祝]・17日[土]・18日[日]

[会場] ホール(定員419席)・三階和室(定員80名) [上演数] ホール・和室含め1日5公演程度

今回からより幅広い世代の観客の皆さまに1日楽しんでいただけるフェスティバルを目指し、従来どおりの「児童青少年部門」と「一般部門」で日程を区切って開催するのではなく、申し込まれた「部門」だけでなく上演内容や鑑賞対象をもとに、実行委員会による様々な企画を加えた、より祝祭色豊かな上演スケジュールでの開催を予定しております。

上演スケジュールのイメージ ※サンプルです。

和室	ホール	洋室Bなど	和室	ホール	洋室Bなど	和室	ホール	洋室Bなど
児童青少年部門 1公演:未就学児~小学生(低)	児童青少年部門 1公演:小学生(低・高)	ブ休憩中 にロビー など！ 児童向け ワークショップや ミニ公演など	一般部門 1公演:高校生以上~一般成人	一般部門 1公演:高校生以上~一般成人	児童向け ワークショップや ミニ公演など	児童青少年部門 1公演:未就学児~小学生(低)	児童青少年部門 1公演:小学生(低・高)	ブ休憩中 にロビー など！ 児童向け ワークショップや ミニ公演など
児童青少年部門 1公演:小学生(高)~中学生	児童青少年部門 1公演:中学生~高校生		一般部門 1公演:中学生~一般成人	一般部門 1公演:中学生~一般成人		児童青少年部門 1公演:小学生(高)~中学生	児童青少年部門 1公演:小学生(低・高)	
一般部門 1公演:高校生以上~一般成人	児童青少年部門 1公演:小学生~一般成人		児童青少年部門 1公演:小学生~一般成人	児童青少年部門 1公演:小学生~一般成人		一般部門 1公演:高校生以上~一般成人	一般部門 1公演:高校生以上~一般成人	

公募公演 募集要項

会場	京都府立文化芸術会館 ホール(定員 419名)・3階和室(定員 80名)
参加資格	参加団体は、関西に活動の本拠を置き、継続的に活動している団体(学校内の団体も含む)とします。 ただし、実行委員会で推薦された団体が参加する場合があります。
参加作品について	<p>開催部門 [児童青少年部門]…小学生から高校生までの鑑賞を主な対象とした作品。 [一般部門]…高校生から一般成人の鑑賞を主な対象とした作品。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●両部門共に参加作品のテーマは自由ですが、創作作品を奨励すると共に、演劇を初めて観る人達にも「演劇ってオモシロイ」と感じてもらえる作品を奨励します。 また、既成の作品の場合は原作者あるいは翻訳者の上演許可を得てください。 ●上演時間については60分以内(仕込時間を除く)の作品とします。 ●ホール各公演の幕間は20分間とします。そのため本番の準備時間については、10分以内の作品とします。 (大道具を含む舞台・照明・音響の仕込みはリハーサル時に行います。大道具等はリハーサル終了後に一旦舞台袖に移動します。) なお、3階和室の公演につきましては、当日9:00 から12:00(予定)までの時間帯で仕込み・リハーサルが行える作品とします。 ●ホール上演作品のリハーサルは本番と同じ日に行えない場合があります。(平日の夜間 に行う場合もあります) ●3階和室の舞台設備についての詳細は直接お問い合わせください。
経費負担	<p>【主催者が負担】会場使用料、付属設備使用料、舞台・照明・音響の人件費。共通リーフレット、チケット等作成費。 【上演団体が負担】下記の参加費ならびに舞台装置製作費、出演料、交通費、特殊設備 使用料、音楽著作物等上演に関する著作権料、稽古に要する費用、その他、主催者が負担する経費以外の一切の経費。</p> <p>■参加費(両部門共通) 3階和室 10,000円[公演チケット 60枚をお渡しします] ホ ー ル 26,000円[公演チケット150枚をお渡しします]</p> <p>上記のチケット配布枚数を越える分につきましては(1日券)1枚200円での販売となります(10枚単位でのお申込)。 また、上記配布分と合わせて合計300枚が上限となります。※和室は応相談。</p> <p>※下記に該当する団体は、別に定める活動概要・履歴等の資料を申込時に併せて提出の後、実行委員会での審査・承認をもって減免することが可能です。</p> <p>★学 生 団 体…大学・専門学校内に活動の本拠を置き、継続的に活動を行っている団体。 →参加料 10,000円(ホールのみ)</p> <p>★児童青少年団体…①小学生から高校生までを主な鑑賞の対象とした創造活動を行っている団体。 ②小学生～高校生が主なスタッフ・出演者の過半数を占め、創造活動を通じた育成を主な目的として活動を行っている団体。 →参加料 5,000円(ホール・和室共)</p> <p>なお、入場料については下記のとおり予定しています。</p> <p>1日券:一般:1,000円 高校生以下: 500円(未就学児童は無料) 当日各200円増 ※会場別 通し券:一般:2,000円 高校生以下:1,000円(未就学児童は無料) 当日各500円増 ※ホールのみ ※1日券・通し券共に和室⇄ホールの連続鑑賞の場合は半券の提示で当日券を 300 円で販売。</p>
運営協力	<ul style="list-style-type: none"> ●参加団体決定後は、参加団体代表者会議を設け、運営について協議いたします。 ●開催期間中は、フェスティバル運営スタッフとして各団体2名程度の参加をお願いします。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●応募団体が募集数をこえた場合、また開催趣旨に沿わない内容が含まれている場合は、速やかに選考委員会を 実行委員会内に設置し、申込書と添付資料を元に選考を行い、参加団体を決定いたします。 ●各団体の上演日時は、参加申込書に記載の可能日を元に、フェスティバル全体の構成を考慮し、実行委員会にて 決定します。 ●参加が決定した団体は、次年度に開催が予定されている府内各地域で演劇祭などのイベントへの「派遣ノミネート 対象団体」となります。※実行委員会・地域の各イベント担当者がフェスティバルでの本番公演を鑑賞し、派遣 団体を決定します(3団体程度)。 なお、派遣に際し、出演料を除く主な経費はフェスティバルが負担します。

第39回 Kyoto 演劇フェスティバル：プレ・イベント I

合同ワークショップ

2017年10月27日(金)19:00～21:00
京都府立文化芸術会館ホール

第39回演フェス 参加無料
申込団体は

世代やジャンル、地域や団体の垣根を越えて舞台の上に大集合！

Kyoto演劇フェスティバルの

メイン会場のホールを使って、小作品を創ってみましょう！

「ホールではどれくらいの声をだせばいいのか？」

「客席からどんな風に見えるのか？」

などなど、やってみなくちゃわからない疑問や不安を、
実際に身体を動かしながら確かめてみませんか？

舞台上での「緊張感！」も味わえますので、
是非是非ご参加をお待ちしております！！

むらかみしんたろう

講師 村上慎太郎 [タ暮れ社 弱男ユニット代表]

劇作家、演出家、俳優。

2005年、京都造形芸術大学
映像・舞台芸術学科在学中に
劇団を立ち上げる。

2008年、次代を担う新進舞台
芸術アーティスト発掘事業「CONNECT
vol.2」(主催/大阪市)にて大賞を受賞。2013年
には、高槻市現代劇場にて新進演出家
に選出された。他にも、京都・大阪などの
小中学校への演劇講師(2011年～)、京都市
東山区ビギナーズユニット講師(2013年～)、
高槻アクターズラボ講師(2015年～)をつとめる。



過去の参加者
アンケートより
(抜粋)

- ・舞台上でどう装置を置けば良いか、2月の本番でどれくらいの声量でやれば良いかよく分かった。
- ・この舞台はかなり細かい事まで観客に見られる・伝わるので“こわい”“気を抜けない”と本番に向けて改めて強く感じました。
- ・他の劇団の皆さんと交流もできて良かったです。

子どもから大人まで皆さん一緒に
劇場体験

第39回 Kyoto 演劇フェスティバル：プレ・イベント II

舞台創造アシスト事業

2017年11月～2018年2月[本番前まで]

会場 各団体の稽古場まで出向きます！

第39回演フェス 派遣無料
申込団体は

より良いモノ創りを目指す皆さまへ、演フェスはどこまでもサポートします！

このプログラムは、演技・演出からその他芝居づくりの
様々なところでお悩みの演フェス申込団体に、
演劇有識者・経験者が稽古場まで
出向いてご相談を承るサポーター派遣サービスです。

「1日限りのコメンテーター」から「演技指導」や
「舞台創造の具体的なアドバイス」など、
できる限りのサポートをいたします。

もちろん、具体的なアドバイスは不要でも、
「ちょっと稽古場に緊張感を…」という時のネタとして
ご利用いただいても構いません。

よりよい舞台創造ができるよう、申込団体とスタッフが
一体となって取り組みたいと思います。
どうぞご活用下さい。

対象

第39回演フェス申込団体すべて

費用

無料(主催者が負担します)

内容

ご希望の内容に応じて柔軟に
対応いたします。
(演技指導・演出指導・道具等製作指導/など)

備考

- ・劇団スタッフとして演出作業/等の
依頼は、お受けできません。
※創造活動の補助的な役割となります。
- ・派遣回数は1団体につき3回まで
となります。

過去の実施後
アンケートより
(抜粋)

- ・発想の豊かさ、具体的なテクニックなどをプロならではの視点から学ばせていただくことができました。
- ・非常に具体的に各場面でのアドバイスしていただいたので、分かりやすく芝居が変わっていくのが実感できた。
- ・子どもの良いところも褒めていただいたので、子どもがやる気をさらに出して頑張ろうという気にさせてくれた。
- ・事前に台本を読んでいただいて、全体を見通したシーンの作り方を非常に分かりやすく指導していただきました。

よりよいモノ創り
出前・出張
サポート

登録講師一覧は
演フェスHPを
ご参照ください。

相互鑑賞プログラム

「演じる」だけが演フェスではありません。お互いの舞台を観て感じた事の「伝え合い」を含めた他団体との交流も、演フェスは目指しています。

1団体につき、2作品を鑑賞していただき、演フェス終了後2週間以内にその講評(意見や感想でも可)を事務局へ提出していただきます。

観劇の感動を伝え合う

幕間トーク アフタートーク

舞台の幕が下りたら、再び緞帳の前に大集合！
次公演への転換時間を利用して幕間トークを行います。
観客の皆さんの感動や感想、質問など、ホットな意見を交わしましょう！
※和室公演は「アフタートーク」という名称で実施します。

今観た舞台をみんなまでレビュー

合評&交流会 ＜参加無料＞

第39回の演フェスを、もう一度振り返りましょう！
それぞれの舞台の感想を語り合うだけでなく、出会いと交流を育み深める企画など、充実した時間となること間違いなし！
(2018年3月に開催予定)

この「出会い」を未来に繋げる

上記の関連プログラムは公募公演の参加団体は参加が必須となります。

観客賞 ホール公演のみ

全てのホール公演を対象に、来場者の皆さんが観劇して「よかった」と思う劇団に順位をつけて投票していただきます。
投票が一番多かった劇団が第5回「観客賞」の栄冠に輝きます。※2作品以上の鑑賞が対象。
(第39回演フェス最終日[2/18]のグランドフィナーレにて発表・表彰式を行います)

大好評！
五回連続の栄冠は誰の手に！

カンゲキ賞 全公演対象

観劇！・感激！
更に「お祭り感」のあるフェスティバルを目指し、参加団体だけでなく、観客の皆さんも一緒に楽しんでいただく事を目的に、上演各作品を鑑賞された観客の皆さんから賞の命名を募ります。
(第39回演フェス最終日[2/18]のグランドフィナーレにて発表と授与を行います)

貴方の命名が、劇団の思い出に

演フェスと「地域」がつながり、より幅広い展開を目指します。

新企画！

地域交流プログラム

演フェスは、まだまだ広がっていきます！

演フェスで上演するだけでは終わらない！

今回より、演フェスと京都府内で開催されている演劇祭などの演劇・人形劇に関連するイベントがつながります！
第39回演フェスでは、上記イベントの担当者と実行委員会が、全ての演フェス上演作品を鑑賞し、派遣団体(3団体程度)を選出します。
選出された団体は、翌年度(2018年4月～2019年3月)までの期間に開催予定の上記イベントでの「招待団体」として、上演の機会が設けられます。(各イベントの開催時期は予定です。／出演料以外の基本的な経費は演フェスが負担します。)

主な対象イベント

・きょうと北部演劇まつり(福知山市／10月～11月)
・きょうと児童青少年演劇まつり(京田辺市／11月)
ほか、京都府内で行われる演劇・人形劇のイベント。

そして、2019年2月に予定の
第40回記念フェスでは
第39回以上に祝祭性豊かな公募公演プログラムに加え、
合同創作劇をはじめ、様々な記念プログラムを準備中です。

合同創作劇について

幅広い世代を対象に、経験の有無を問わず、広く参加者を公募し、ワークショップを経て舞台作品を創り上げ、ホールで上演を行う企画です。

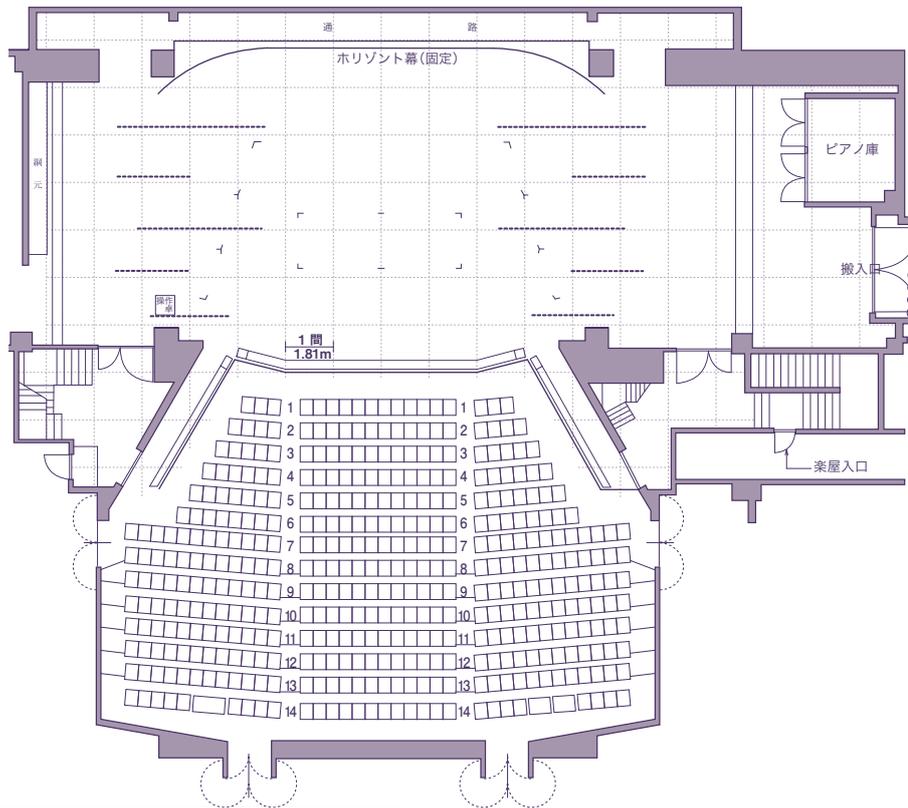
合同創作劇 演フェス版「ぼくの・稲荷山戦記」より
(第25回Kyoto演劇フェスティバル[2004年3月]にて)



お申込から演フェス本番・合評会までの流れ



上演会場の概要



ホール

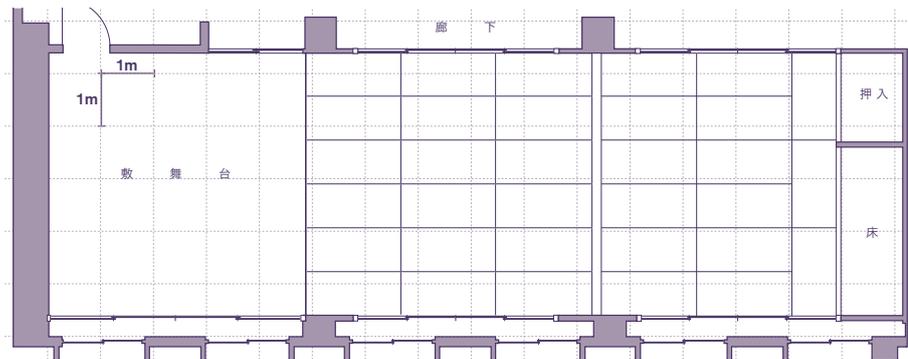
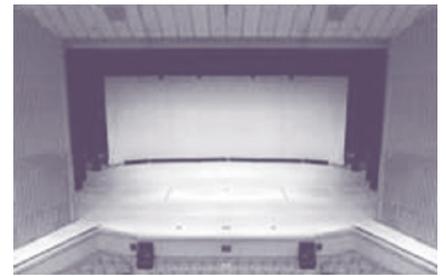
舞台総面積	421.47平方メートル
客席数	固定席419席+車椅子ブロック/3
舞台間口	7間半(13.5m)
舞台奥行	6間(10.8m)
プロセニウム高	27尺(8.1m)
すの子高	54尺(16.2m)
迫り	7尺×21尺(2.1m×6.3m) 昇降速度40秒/4.5m 制限重量1500kg
搬入口	18尺×11尺(5.4m×3.3m)
舞台袖	上手/30尺×30尺(9m×9m) 下手/30尺×17尺(9m×5.1m)
花道	3尺3寸×20尺(約1m×6m) ※上手下手共
緞帳(2張)	第一 電動(昇降時間9秒~16秒) 第二 電動(昇降時間 16秒)
暗転幕(1張)	手動
引割幕(2張)	第一/手動、第二/手動
大黒幕	手動(ボタン15)
水平幕	固定
美術ボタン	(手動)2・3・4・6・8・9・11・12・13・14・15 (電動)1・5・7・10→とびきり 47尺(昇降時間 76秒)



ホールは舞台機構を活用した本格的な劇場空間をお楽しみいただけます。(その日のホール上演全団体が協力して集客を行います)

会場ごとの特色をご理解のうえお申しください。

和室は小スペースの良さを生かし、観客との一体感のある空間が特色です。(上演団体が主体となり集客を行います。)



3階和室

客席数	60名~80名程度 (座布団/ハコカマ/床几等対応可)
間口	5m
奥行	15m
天井高	3m(数舞台) 2m50(畳側)
備考	上記客席数は数舞台側を上演スペースにした場合の収容人数で、上演スペースの設定内容により収容人数は変動します。

【実行委員会】 第39回Kyoto演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われております。

- 委員長 椋平 淳 (大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
- 委員 岡田 尚文 (京都西陣創造集団アノニム)
岡田 茜子 (エイチエムビー・シアターカンパニー)
木原 アルミ (バーカース)
沢 大洋 (京都学生演劇祭 財務局長)
高杉 征司 (俳優/サファリ・P)
田辺 剛 (下鴨車窓)
中田 達幸 (俳優・演出家)
小林 洋介 (人形劇団京芸)
中村 さとし (京都児童青少年演劇協会)
森井 有子 ()
小谷 常 (京都人形劇センター)
中村 昌剛 ()
森木 隆浩 (京都府文化スポーツ部 文化芸術振興課 課長)
下田 元美 (京都府立文化芸術会館 館長)

京都府立文化芸術会館

〒602-0858

京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046(受付時間 9時~18時) 【公式HP】<http://kyoto-enfes.seesaa.net/>



- 【JR京都駅から】市バス4系統・17系統・205系統
【四条河原町から】市バス3系統・4系統・17系統・205系統
- 【三条京阪から】市バス37系統・59系統
【京都バス】21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅経由
※いずれも「府立医大病院前」バス停下車0分
- 京阪電車/「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
- ※駐車スペース(有料150円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

第39回 Kyoto演劇フェスティバル〈公募公演〉参加申込書

① 団体名・参加希望部門等

2017年 月 日

団体名					
代表者	ふりがな氏名		TEL	FAX	
	住所	〒	E-MAIL		
連絡先	ふりがな氏名		TEL	FAX	
	住所	〒	E-MAIL		
参加希望部門・可能日程など	希望部門	<input type="checkbox"/> 一般部門 <input type="checkbox"/> 児童青少年部門		ジャンル 演劇 人形劇 その他()	
	希望会場	<input type="checkbox"/> ホール (平日夜間のリハーサル <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可)			<input type="checkbox"/> 3階和室
	可能日程	<input type="checkbox"/> 全日可能			
		<input type="checkbox"/> 2月10日(土) <input type="checkbox"/> 2月11日(日) <input type="checkbox"/> 2月12日(祝) <input type="checkbox"/> 2月17日(土) <input type="checkbox"/> 2月18日(日)			

② 作品概要

上演作品について <small>※記入スペースがたりない場合は別紙に追記して提出してください。</small>	作品名				予定 出演者数	予定 上演時間
	作・脚色	<input type="checkbox"/> 創作 <input type="checkbox"/> 脚色 <input type="checkbox"/> 既成			名	分
	鑑賞対象 (複数チェック可)	<input type="checkbox"/> 未就学児童～小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 一般成人 <input type="checkbox"/> その他()				
	スタッフ	団体内に専属のスタッフが居られるなど、申込時に決まっている場合はお書きください。				
		演出	舞台監督	照明	音響	
	作品の あらすじ					
作品の ・見どころ ・特色 ・工夫						
上演に 向けての 抱負や 意気込み、 アピール等						

申込方法・締切

募集要項の記載内容に同意いただき、参加を希望される場合は、参加申込書に必要事項を記入の上、複写していただき、複写された申込書の写しに資料を添えて京都府立文化芸術会館内「Kyoto演劇フェスティバル事務局」までお申し込みください。なお、FAXや電話・メールによるお申し込みはご遠慮ください。 **締切／9月22日(金)※消印有効**

③ 団体概要等 ※記入スペースが足りない場合は別紙に追記して提出してください。

団体所在地	
創立年月日	年 月 日
構成メンバー	構成人数 名 氏名
団体の概要 ・創立の経緯 ・現在の活動状況 ・今後の予定など	
主な稽古場	
過去2年間の 公演実績 公演の内容がわかる資料 (チラシパンフなど)を 添付してください。	年 月 日 於
	年 月 日 於
	年 月 日 於
演劇フェスティバル参加歴	参加回数 / 回

参加料の減免	<input type="checkbox"/> 学生団体として減免を申請します。 (参加料10,000円※ホールのみ)	<input type="checkbox"/> 児童青少年団体として減免を申請します。 (参加料5,000円※ホール・和室共)
	参加料の減免を希望される団体は、上記の該当欄をチェックしていただき、上記の団体概要に詳細をご記入いただくと共に、名簿(年齢のわかるもの)と活動実績(上記の公演実績とは別途に、地域でのイベント参加/等、公演以外の活動や発表など)など、減免を希望する団体である事を証明する資料を作成し、参加申込書と一緒に提出してください。 ※資料に不備がありますと、減免の適用ができなくなりますので、事前に事務局で確認を受ける事をお勧めします	

舞台イメージ ※別紙作成可	
------------------	--

演フェスで取り上げて欲しい企画や企画のアイデア(皆様の提案が次回以降の演フェスで実現するかもしれません)

添付された資料にチェックを付けてください(□企画書等 □台本 □公演DVD等)
 ※オリジナル作品での参加をご予定で、台本がまだ完成していない場合は、企画書にできるだけ詳しく作品の内容をご記入ください。
 ※応募多数の場合は、申込書の記載内容や添付資料を参考に選考を行いますのでご注意ください。
 ※提出資料につきましては原則返却いたしません。